

2020年8月7日

各位

会社名 株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント  
 代表者名 代表取締役社長 鳥越 慎二  
 (コード 8769 東証第一部)  
 問合せ先 経営管理部長 栗原 直彦  
 (TEL. 03-5794-3800)

**連結業績予想及び配当予想並びに中期経営計画の数値目標修正に関するお知らせ**

2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期連結業績予想及び配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

また、これに伴い、2018年8月7日に公表いたしました「中期経営計画2020」(2018年度～2020年度)における最終年度の数値目標を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	5,600	640	640	425	25.08
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期連結実績 (2020年3月期)	5,263	952	954	639	37.74

(2) 業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、5月25日の緊急事態宣言解除を受けて社会経済活動が徐々に再開していることから、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

当社は、メンタリティマネジメント事業及び就業障がい者支援事業の属する市場の成長を商機に活かすべく、中長期的な事業展開を見据えた人材確保やIT投資を含むサービス開発等の先行投資を行っております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大により企業活動が大幅に制限されることとなり、営業活動の遅延・停滞や企業の経費節減志向の高まり、また、当社サービスの重要な一つである集合研修の延期や中止などによる影響は大きく、新規顧客開拓等による想定通りの売上高の伸びを確保できない見込みである一方、上記の先行投資による固定費の増加を吸収できないことを主因として売上高利益率が低下するため、2021年3月期につきましては増収減益となる見通しです。

## 2. 配当予想について

### (1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2020年5月14日発表)	—	—	—
今回発表予想	0.00	10.00	10.00
前期実績 (2020年3月期)	0.00	11.00	11.00

### (2) 配当予想の理由

配当につきましては、各事業年度の業績、財務状況、今後の事業展開等を総合的に勘案した上、連結配当性向 25～30%程度を念頭に安定した配当を継続的に実施することを基本方針としております。

2021年3月期の配当予想につきましては、上記の連結配当性向の範囲を超えることとなりますが、安定した配当を継続的に実施するという基本方針を踏襲すべく、1株当たり年10円といたします。

## 3. 中期経営計画における数値目標の修正について

### (1) 中期経営計画の数値目標

(単位：百万円)

	2021年3月期 修正前	2021年3月期 修正後	増減額
売上高	7,000 ～8,000	5,600	▲1,400 ～▲2,400
営業利益	1,300 ～1,700	640	▲660 ～▲1,060
経常利益	1,300 ～1,700	640	▲660 ～▲1,060
親会社株主に帰属する 当期純利益	800 ～1,100	425	▲375 ～▲675

### (2) 修正の理由

「中期経営計画2020」の最終年度である2021年3月期の数値目標につきましては、前記の2021年3月期の連結業績予想のとおり修正いたします。

なお、「中期経営計画2020」で掲げている考え方には変更はありません。引き続き、企業の生産性向上を実現し、未来基準の元気をもたらすために、「健康経営・人材開発・両立支援プラットフォームの確立」を目指してまいります。

(注) 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものです。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上